

COVID-19 対応について 3

— 清潔・安全な院内環境です —

川崎市立川崎病院 ご利用の皆様へ

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の蔓延状態が続いております。

川崎市内の PCR 検査陽性率は、一時 1%を切るまで低下していましたが、現在は 5%を超える状態が継続しています。市内入院患者さんも一時はゼロになりましたが、6月下旬よりは再度、入院治療患者さんが発生しています。しかしながら、川崎市内では、行政と複数の医療機関が連携して、情報共有をしながら入院患者管理をきちんとしており、これまでのところ医療破綻とはなっておりません。当院でも、COVID-19 診療と一般急性期診療が両立するように、体制を整えております。

このような中、8.15. 当院の医療事務を担当する事務職員（委託業者職員）が COVID-19 陽性となってしまい、ご心配、ご迷惑をおかけして、大変申し訳ありませんでした。感染の原因は明らかではありませんが、院内感染ではありません。当該職員は窓口業務を行っておらず、感染症病棟はもとより、一般患者さんとの接触もありません。また、院内では、職員の感染管理については厳重に行っており、この職員についても聞き取りから、濃厚接触者はおりませんでした。ただし念の為、同じ部屋で執務を行っている職員全員に LAMP 法検査を追加し、全員の陰性を確認いたしました。これらのことから、感染は本人に限定しており、病院業務については制限を行うことはなく、通常通り、行っております。

また、8.17.には、8.12.夜間に当院小児科当直業務を行った非常勤医師（都内医療機関勤務）の感染も判明いたしました。こちらも濃厚接触者はおりませんでした。念の為、診療した患児、その付添人、関係した職員に LAMP 法検査を行いました。全員陰性でした。当該非常勤医師の出勤は停止していますが、病院の診療体制に全く影響はありません。

市中蔓延期の中では、周辺から院内に入ってくる感染をブロックしなければなりません。今後も、職員全員の感染管理と、来訪者の検温などのご協力をもって、清潔、安全な診療環境を維持してまいります。熱中症の重症患者さんも増えてきており、患者管理、病床管理は難しくなっていますが、当院の診療機能は維持されております。何卒、今後も川崎病院へのご理解、ご協力をお願いいたします。

入れない、罹らない、拡げない。

2020.8.19.

川崎市立川崎病院 病院長 金井歳雄